

# 科学技術人材育成費補助金 Q & A

「テニュアトラック普及・定着事業」

平成 23 年 7 月 27 日

文部科学省

科学技術・学術政策局

基盤政策課

## 【テニュアトラック普及・定着事業】

Q 公募要領P5の「テニュアトラック教員の募集及び選考・採用に関する要件」として、「博士号取得後10年以内の研究者又は同等程度の研究経歴を有する研究者であること」とありますが、博士号取得後10年を超えてもよいのか。また「同等程度の研究経歴」とはどういうことか。

A テニュアトラック教員の要件は、博士号取得後10年以内です。「同等程度の研究経歴」とは「博士課程に標準年限以上在学し、所定の単位を修得の上、退学した者（いわゆる「満期退学者」）」で、10年以内の研究経歴を有することが必要となります。

Q 公募要領P5の「テニュアトラック教員の募集及び選考・採用に関する要件」として、「博士号取得後10年以内の研究者又は同等程度の研究経歴を有する研究者であること」とありますが、どの時点で、10年以内と判断すればよいのか。

A 機関におけるテニュアトラック教員の公募締切時点において、10年以内とします。

Q バーチャルな組織として申請する場合、部局等様式2「3. 部局等のデータ・取組」に記載する実績がないが0人と記載すればよいのか。

A テニュアトラック教員が、テニュア審査に合格後、テニュア教員として配属される部局等の実績を記載してください。

## <5. 2次公募に関するもの>

Q 1次公募にて申請した部局等についても、2次公募で申請可能か。

A 公募要領、審査要領に記載されているテニュアトラック制の要件を満たしていれば申請可能ですが、同一人物への重複支援はできません。

Q 2次公募は、1次公募と政策基準等が異なるのか。

A 政策意図や選考基準等に変更はありません。

Q 2次公募を行うことは当初から予定されていたのか。

A 多数の機関から、1次公募の公募期間が短く内部調整が間に合わないとの意見が寄せられたことや1次公募の申請件数も踏まえ、2次公募を行うこととしました。

なお、1次公募の公募期間を6月末としたのは、個人選抜型の選考を秋に行うことができるように考慮したためです。

Q 2次公募に追加応募することに代えて、1次公募の申請内容を差し替える（具体的には人数の増等）ことは可能か。

A 1次公募の審査は既に始まっていますので、1次公募の申請内容を差し替えることはできません。今回の2次公募において、増員分の申請書を改めて提出してください。